

## **第12回熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講演会・2013年度熊本大学研究拠点B成果報告 合同講演会**

2013年11月16日(土)13:00-16:35に、「沿岸域環境科学の最前線—基礎研究から保全・防災・再生まで 合同講演会」を熊本大学工学部百周年記念館で開催した。今年度の講演会も、前年度と同様に本拠点形成研究班と沿岸域センターが主催し、文部科学省特別経費(プロジェクト分)大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実—「生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクト」および独立行政法人港湾空港技術研究所との共催で実施した。

本年度は、熊本大学拠点形成Bの最終年度に当たり、講演会冒頭で、拠点リーダーの滝川清教授による拠点形成活動の総括が行われた。その他の講演では、沿岸域センター教員と拠点形成Bメンバーが沿岸域環境に関する研究成果を市民の方々に紹介した。また、ロビーでは研究プロジェクトや学生の研究成果のポスター展示や八代地域の歴史写真の展示も行われた。参加者は35名で有明海・八代海から東京湾や震災後の東北地方など日本各地の海域環境の問題について幅広い話題が提供され、学内外の研究者や一般市民のあいだで熱心な議論が交わされた。

### 講演：

滝川 清 (拠点形成B研究リーダー)

「豊かな沿岸域環境の創成～拠点形成研究のめざすところ～」

森本剣太郎 (熊本大学・特定事業研究員)

「沿岸性レクリエーションにおける安全・環境教育の取り組み」

増田 龍哉 (大学院先導機構 特任助教)

「八代海への排出負荷量算出と今後の課題」

中田 晴彦(大学院自然科学研究科・理学専攻 准教授)

「アジア新興国の水環境汚染に関する国際共同研究

～ベトナム・ハノイ建設大学との交流深化に向けた予備調査の概要」

森村 茂 (大学院自然科学研究科・複合新領域専攻 准教授)

「微生物による汚染物質の分解技術の開発」

嶋永 元裕 (生物資源循環系解析学分野 准教授)

「八代海湾奥部における底生生物群集の季節変動」

中川 康之 (沿岸域社会計画学分野 客員准教授)

「内湾域の底層DO濃度の変動特性について」

桑江 朝比呂 (沿岸域社会計画学分野 客員教授)

「都市型ブルーカーボン」

瀧尾 進 (生物資源保全・開発学分野 教授)

「紅藻スサビノリと海草アマモに付着する細菌類の解析」

逸見 泰久 (沿岸域環境科学教育研究センター長)

「海洋環境の長期モニタリングの重要性」

### ポスター：

拠点形成B研究グループ

「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成研究紹介」

「昔の有明海・八代海沿岸の風景」

Raden Darmawan1・葛城慎哉2・太田広人1・新留琢郎1・中田晴彦1・増田龍哉3・滝川 清4・森村 茂1 (1熊大院・自然科学, 2熊大・工・物質生命, 3熊大院・先導機構, 4熊大・沿岸域セ)

「Isolation of biosurfactant producing bacteria from Midorikawa estuary

(緑川河口干潟からの生物系界面活性物質生産菌の単離)」

Irfan Mustafa<sup>1</sup>・葭原孝雄<sup>2</sup>、太田広人<sup>1</sup>・新留琢郎<sup>1</sup>・増田龍哉<sup>2</sup>・滝川 清<sup>3</sup>・森村 茂<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊大院・自然科学、<sup>2</sup>熊大院・先導機構、<sup>3</sup>熊大・沿岸域セ)

「Analysis of bacterial community for sulfur cycle in conserved tidal flats in Ariake sea

(環境が保全された有明海干潟における硫黄循環関連微生物の群集構造解析)」

近藤愛里<sup>1</sup>・中田晴彦<sup>1</sup>・百島則幸<sup>2</sup> (<sup>1</sup>熊大院・自然科学、<sup>2</sup>九州大・アイソトープ総セ)

「八代海東岸における多環芳香族炭化水素類 (PAHs) 濃度の時空間的変遷」

渡辺裕太<sup>1</sup>・折式田崇仁<sup>1</sup>・中田晴彦<sup>1</sup>・細野高啓<sup>2</sup>・利部真<sup>1</sup>・小野昌彦<sup>1</sup>・徳永貴大<sup>1</sup>・  
嶋田 純<sup>1</sup> (<sup>1</sup>熊大院・自然科学、<sup>2</sup>熊大院・先導機構)

「地下水への下水漏出評価法の検討 ―水溶性難分解物質を指標にして―」

泉大 智・小島太一 (熊大院・自然科学) 「天草のカニ達」

追立泰久 (熊大院・自然科学) 「殻をもたない貝の仲間」

瀬戸口友佳 (熊大院・自然科学) 「深海のオアシスの住人」

福田ゆか (熊大院・自然科学) 「アラムシロガイとマキガイイシギンチャクの紹介」

荻本大地 (熊大院・自然科学) 「塩性湿地のいきものたち」

橋口真大 (熊大院・自然科学) 「熊本の宝：ハマグリ」

村田泰一 (熊大院・自然科学) 「海岸を埋めつくすアオサ」

山口純平 (熊大院・自然科学) 「生きた化石 ナメクジウオ」